令和８年度沖縄市子育て支援員（地域保育コース）研修募集要項

1. 目 的

保育や子育て支援分野の各事業に従事することを希望する方に対し、必要な知識や技能等を修得した「子育て支援員」を養成する研修を実施し、新たな保育の担い手を確保することを目的とする。

2. 主催

沖縄市

3. 運営（委託）

学校法人智帆学園

4. 受講対象者

以下のいずれかに該当する者

（１）本市の保育や子育て支援分野の職場に勤務している者

（２）保育や子育て支援等の仕事に関心を持ち、市内において、保育従事者等として従事することを希望する者（市外在住者含む）

5. 定 員

４０名

6. 受講の優先順位

（１）受講の優先順位は次の①から⑤の順とする。

（２）優先順位

①本市において、保育事業の認可見込みとなっている事業所に従事している、若しくは従事することが決定している場合で、子育て支援員研修を受講しなければ職員配置等の都合上、事業が実施できない、あるいは事業が認可されないなど受講が必要不可欠であることが認められる場合

②保育補助者雇上強化事業対象者（予定含む）

「沖縄市保育補助者雇上強化事業補助金交付要綱第３条及び第５条」に該当

③市内の認可保育園に従事している、若しくは従事することが決定している場合

④市内の認可外保育施設に従事している、若しくは従事することが決定している場合

⑤その他

※受講者を決定するにあたり、優先順位の高い順に選定を行っても受講者の決定が

できない場合、一部科目修了者（基本研修免除者含む）を優先する。それでもなお決まらない場合は、抽選を行う。

7. 研修内容

本研修は、インターネットを使用したリモートでの講義を行います。

研修内容につきましては、別紙「研修内容」をご確認ください。

（1）「基本研修」の修了者が、「専門研修」受講の条件となります。

（2）研修受講後、本市消防本部にて「(乳幼児を対象とした）普通救命講習※以下、「心肺蘇生法」と言う。)」を受講しなければ全科目修了となりませんのでご注意ください。

※「心肺蘇生法」を受講しなかった場合、**一部科目修了**となります。

8. 日程

別紙「スケジュール」のとおり

9. 費用

受講費は無料です。

※ただし、テキスト代、インターネット通信費（リモートに関する費用含む）等は自己負担となります。

テキスト代・・・500 円

10. 修了証の発行

研修の全日程を受講した後、「心肺蘇生法」の講習を受講された方（「心肺蘇生法」の講習を受講された方は修了証等の提出が必要となる場合があります。）は「子育て支援員研修修了証書」を交付いたします。

病気等のやむを得ない理由により研修の一部を欠席された場合や「心肺蘇生法」の講習を受講されていない方においては、「子育て支援員研修一部科目修了証書」を交付いたします。

11. 受講免除

（1） これまでに、沖縄県及び他の都道府県や市町村で実施している子育て支援員研修において「基本研修」または「専門研修」の一部科目を修了した方は、修了した科目について受講が免除となります。免除を希望される場合は、受講申込書に「子育て支援員研修一部科目修了証書」等を添付してください。

※一部科目修了者の受講免除科目については、直近１年以内の受講などの要件に該当しないときは、免除にならない場合もあります。

（2）「基本研修」受講免除

以下に掲げる者については、希望により「基本研修」８科目の受講の免除が可能となります。受講申込書に免除科目の有無を記入してください。
あわせて、当該資格の免許状等の写しを添付（氏名変更等により免許状等の氏名と異なっている方は、戸籍抄本もあわせて添付）してください。

①保育士
②社会福祉士
③その他国家資格（幼稚園教諭、看護師等）を有し、かつ日々こどもと関わる業務に携わるなど、実務経験により、基本研修で学ぶべき知識等が習得されていると都道府県知事等が認める者。

12. 申込受付期間及び申込方法

（１）申込受付期間：令和８年 10 月 19 日（月）～令和８年 11 月９日（月）

（２）申込方法：原則 WEB による申し込みとなります。WEB 申し込みが難しい場合は「受講申込書」に記載のうえ、「14. 問合せ・申込先」記載の住所へ郵送にてお申し込みください。

（３）申込上の注意

受講申込等に不備・不明な箇所がある場合、必要に応じ書類の追加・再提出を依頼する場合があります。電話、書面での受付は行っておりませんので、ご注意ください。

13. 受講可否の通知

申込終了後、受講決定通知書の発送をもって報告いたします。
令和８年 11 月 16 日以降発送予定
※研修日程が変更になることもございますので、ご了承ください。

14. 問合せ・申込先

学校法人智帆学園　琉球リハビリテーション学院
担当：福田聡史
住所：〒904-1201 沖縄県国頭郡金武町字金武 4348-2
Email：s-fukuda@ryukyu.ac.jp
TEL：098-983-2130　（月～金　9：00～17：00）

別紙

研修内容

ア. ガイダンス

科目	時間等	内容
ガイダンス	30 分程度 講義	研修実施体系･研修受講時の留意点等について

イ. 基本研修

研修科目	時間等	内容	目的
①子ども･子育て家庭の現状	60 分 講義	＜子ども･子育て家庭（対人援助を行う対象）に対する理解＞ ①子どもの育つ社会･環境 ②子育て家庭の変容 ③子どもの貧困及び子どもの非行についての理解	①子育て家庭と家庭生活を取り巻く社会的状況について理解する。 ②家庭の意義と多様な子育て家庭のニーズと子育て支援等の現状と課題について理解する。 ③子育て家庭への支援について理解する。 ④子どもの貧困や非行などの背景の概要について理解する。
②子ども家庭福祉	60 分 講義	＜子育て支援制度の理解＞ ①子ども･子育て支援新制度の概要 ②児童家庭福祉施策等の理解 ③児童家庭福祉に係る資源の理解	①児童家庭福祉施策･制度の概要（子ども･子育て支援新制度の概要と子育て支援員が関わる事業の枠組みと位置づけ等）について理解する。 ②児童福祉施設等と専門職の役割について理解する。 ③児童家庭福祉に関する地域資源の概要（地域人材の確保を含む）について理解する。
③子どもの発達	60 分 講義	＜子ども･子育て家庭（対人援助を行う対象）に対する理解＞ ①発達への理解 ②胎児期から青年期までの発達 ③発達への援助 ④子どもの遊び	①子どもの発達を捉える観点について理解する。 ②子どもの発達（「発達･成長の保障」、「情緒の安定」、「生命の保持」）の概要について理解する。 ③生涯発達の概要について理解する。 ④子どもの発達に応じた援助の基礎について理解する。 ⑤「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する。

④保育の原理	60分 講義	＜子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解＞ ①子どもという存在の理解 ②情緒の安定･生命の保持 ③健康の保持と安全管理	①発達･成長過程に応じた保育の基礎について理解する。 ②情緒の安定と生命の保持に係る保育の基礎について理解する。 ③子育て支援事業における安全対策や危機管理の必要性について発達との関連を踏まえて理解する。
⑤対人援助の価値と倫理	60分 講義	＜子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解＞ ①利用者の尊厳の遵守と利用者主体 ②子どもの最善の利益 ③守秘義務･個人情報の保護と苦情解決の仕組み ④保護者･職場内･関係機関･地域の人々との連携･協力 ⑤子育て支援員の役割	①対人援助の価値について理解する。 ②子どもの最善の利益について理解する。 ③対人援助の倫理について理解する。 ④保護者･関係者･関係機関との連携･協力の必要性について理解する。 ⑤子育て支援員の役割について理解する。
⑥児童虐待と社会的養護	60分 講義	＜子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解＞ ①児童虐待と影響 ②虐待の発見と通告 ③虐待を受けた子どもに見られる行動 ④子どもの権利を守る関わり ⑤社会的養護の現状	①児童虐待(家庭における配偶者等からの暴力(DV)を含む)とその影響(虐待を受けた子どもに見られる行動など)について理解する。 ②虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的な対応の概要について理解する。 ③子どもの権利擁護の基本的視点について理解する。 ④社会的養護の意義と現状の概要について理解する。 ⑤社会的養護を必要とする子どもや家庭の状況について理解する。

⑦子どもの障害	60 分 講義	＜子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解＞ ①障がいの特性についての理解 ②障がいの特性に応じた関わり方・専門機関との連携 ③障害児支援等の理解	①障害特性の概要について理解する。 ②障害児支援制度の概要について理解する。 ③障害特性に応じた関わり方や専門機関との連携の概要について理解する。 ④障害児支援等の現状について理解する。
⑧総合演習	60 分 演習	①子ども・子育て家庭の現状の考察・検討 ②子ども・子育て家庭への支援と役割の考察・検討 ③特別な支援を必要とする家庭の考察・検討 ④子育て支援員に求められる資質の考察・検討 ⑤専門研修の選択など今後の研修に向けての考察・検討	①履修した内容につての振り返りを図るためのグループ討議。 ②子育て支援員に求められる資質についての理解の確認。 ③履修した内容の総括と今後の課題認識の確認。 ※内容欄のテーマをもとに、研修効果の定着を図るために上記①～③のいずれかの振り返りを行う。

ウ. 専門研修①（地域保育コース）

研修科目	時間数	内容	目的
①乳幼児の生活と遊び	60 分 講義	①子どもの発達と生活 ②子どもの遊びと環境 ③人との関係と保育のねらい・内容 ④子どもの一日の生活の流れと役割	①発達・成長過程に応じた子どもの生活への援助方法について理解する。 ②発達にふさわしい子どもの遊びとその環境のあり方について理解する。 ③子ども同士の関わり合いが発達を促すことについて理解する。 ④子どもの一日の生活の流れの中での保育者（※）の役割について理解する。 ※【共通科目】において、保育者とは、家庭的保育補助者、保育従事者及び提供会員をいう。

② 乳幼児の発達と心理	90 分 講義	①発達とは ②発達時期の区分と特徴 ③ことばとコミュニケーション ④自分と他者 ⑤手のはたらきと探索 ⑥移動する力 ⑦こころと行動の発達を支える保育者の役割	①0歳から 3 歳くらいまでの乳幼児期の発達のポイントを学び、発達に応じた遊びやその安全性について理解する。 ②子どもの発達を支える保育者の役割について理解する。
③ 乳幼児の食事と栄養	60 分 講義	①離乳の進め方に関する最近の動向 ②栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ③食物アレルギー ④保育者が押さえる食育のポイント	①離乳の進め方に関する最近の動向について理解する。 ②幼児期の昼食作りに役立つ栄養バランスのポイント、食品衛生の基礎知識について理解する。 ③食物アレルギーについて理解する。 ④保育者がおさえる食育のポイントについて理解する。
④ 小児保健Ⅰ	60 分 講義	①乳幼児の健康観察のポイント ②発育と発達について ③衛生管理・消毒について ④薬の預かりについて	①保育を行う上で必要となる健康管理のポイントや疾病の予防と感染防止への対応、保育中の発症への対応などの基礎知識について理解する。 ②現場に生かせる、より具体的な対応について理解する。
⑤ 小児保育Ⅱ	60 分 講義	①子どもに多い症例とその対応 ②子どもに多い病気（SIDS 等を含む）とその対応 ※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」を周知する。 ③事故予防と対応	①子どもに多い症状・病気を学び、その対応について理解する。 ②小児に多い事故を学び、その予防と対応について理解する。 ③異物除去法、心肺蘇生法を学び、緊急時の対応について理解する。
⑥ 心肺蘇生法	120 分 実技	①心肺蘇生法、AED、異物除去法等 **※研修終了後、沖縄市消防本部にて実施いたします。**	①乳幼児を対象とした救急救命が行えるように、その技術を身につける。

⑦地域保育の環境整備	60分 講義	①保育環境を整える前に ②保育に必要な環境とは ③環境のチェックポイント	①保育環境の整備に当たり、基本的な考え方と配慮事項について理解する。 ②保育を行うために作られた場所ではないところを保育の場として利用する上での工夫や配慮について理解する。 ③保育に必要な設備・備品とその配置について、具体的事例及びチェックポイントを示し、自己点検を行えるようにする。
⑧安全の確保とリスクマネジメント	60分 講義	①子どもの事故 ②子どもの事故の予防保育上の留意点 ③緊急時の連絡・対策・対応 ④リスクマネジメントと賠償責任	①保育環境上起こりうる危険について学び、事故を未然に防ぐための予防策や安全確保の留意点について理解する。 ②万一事故が起こった場合の対応や報告について理解する。
⑨保育者の職業倫理と配慮事項	90分 講義 ・ 演習	①保育者の職業倫理 ②保育者の自己管理 ③地域等との関係 ④保育所や様々な保育関係者との関係 ⑤行政との関係 ⑥地域型保育の保育者の役割の検討（演習）	①保育者としての職業倫理について理解する。 ②保育者の自己管理について理解する。 ③地域住民との関係づくりについて理解する。（家庭的保育における家庭的保育者の家族との関係にも留意する。） ④保育所や様々な保育関係者との関係づくり、行政との関係などについて理解する。 ⑤児童虐待が疑われた場合の保育者としての対応について理解する。

⑩特別に配慮を要する子どもへの対応（0～2歳）	90分 講義	①気になる行動 ②気になる行動をする子どもの行動特徴 ③気になる行動への対応の考え方 ④気になる行動の原因とその対応 ⑤保育者の役割 ⑥遊びを通して、子どもの発達を促す方法	①0～2歳の気になる行動をどのように考え、どう関わっていけばよいかを行動特徴の把握などを通して理解する。 ②特別に配慮を要する子どもへの対応における保育者の役割について理解する。 ※発達の遅れが疑われる場合、保護者の思いを踏まえた上での対応の必要性について理解する。 （専門機関との連携を含む。） ③遊びを通して、子どもの発達を促す方法について理解する。
⑪グループ討議	90分 演習	①討議の目的 ②検討の原則 ③検討の効果 ④討議のすすめ ⑤グループ討議（演習）	①研修参加者が討議のテーマにそって話し合うための方法やマナーについて理解する。 ②テーマについて、自分の意見を述べたり、他の参加者の意見を聞く相互作用を通して、考えをまとめ、問題点を整理し、解決方法を検討する。 ③今後学びたい内容あるいは助言者に質問したいことなどをグループ内で話し合う。 ④研修で学んだこと等についてグループ討議を行い、理解を深める。

エ. 専門研修②（地域型保育）

研修科目	時間数	内容	目的
①地域型保育の概要	60分 講義	①地域型保育の事業概要 ②地域型保育の特徴 ③地域型保育のリスクを回避するための課題	①地域型保育の各事業の概要や位置づけについて理解する。 ②地域型保育の特徴を学び、保育所保育との共通点、相違点について理解する。 ③規模の小さい地域型保育の意義及びリスクについて学び、リスクを回避するための課題について理解する。 （注）一時預かり事業の研修受講を促す。
②地域型保育の保育内容	120分 講義 ・ 演習	①地域型保育における保育内容 ②地域型保育の1日の流れ ③異年齢保育 ④新しく子どもを受け入れる際の留意点 ⑤地域の社会資源の活用 ⑥保育の計画と記録 ⑦保育の体制	①地域型保育における基本的な1日の流れや保育内容について理解する。 ②少人数の異年齢児を保育する際の方法、工夫、留意事項などについて理解する。 ③新しく子どもを受け入れる際の留意点について理解する。 ④計画や記録の必要性を学び、子どもの育ちの見通しをもって保育することの重要性について理解する。
③地域型保育の運営	60分 講義	①設備及び運営の基準の遵守 ②情報提供 ③受託までの流れ ④地域型保育の運営上必要な記録と報告	①設備及び運営の基準の内容について理解する。 ②情報提供の方法、受託前の利用者との面接、記録や報告の管理などについて理解する。
④地域型保育における保護者への対応	90分 講義	①保護者との関わりと対応 ②保護者への対応の基本 ③子育て支援における保護者への相談･助言の原則 ④保護者への対応 ～事例を通して考える～	①保護者と協力して子どもの発達を支えるとともに、保護者の子育てを支援する役割についての意義を学び、このために必要な知識と技術について理解する。 ②地域型保育における保護者への対応において、保護者との信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを

			学び、事例検討などを通して考え、理解する。
⑤見学実習オリエンテーション	30～60分 演習	①見学実習の目的 ②見学実習のポイントと配慮事項 **見学実習をリモートでの講義・演習に代えるため、省略する。**	①見学実習を行うにあたって必要な配慮事項や見学のポイントについて理解する。 ②見学実習でどのようなことを学びたいか、あらかじめ考える機会とする。
⑥見学実習	2日 実習 実習と同程度の内容を担保（1日以上）	1日目 保育の1日の流れを見る 2日目 保育の記録･計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ ※認可保育所での0～2歳児の保育に関する見学実習も可能とする。 **見学実習をリモートでの講義・演習に代えて行う。**	①地域型保育の現場に出向き、講義で学んだ環境整備や保育内容、安全確保など実際に見学･観察を通して理解する。 ②保育に取り組むに際して、具体的に参考になることについて理解する機会とする。（家庭的保育は、家庭的保育者個人の自宅であり、異なる地域の環境の中でそれぞれ独自の工夫をして、保育を展開していることに留意する。） ③（見学実習を講義･演習に代える場合）子どものおむつ交換、食事の介助など、子どもの生活援助について演習を通して理解する。ミルクやほ乳瓶などの実物を知る。

沖縄市　子育て支援員研修

研修日時			時間配分	研修内容科目	
1日目	12/5(土)	10：00～10：20	20分		ガイダンス
		10：20～11：20	60分	基本研修①	子ども・子育て家庭の現状
		11：30～12：30	60分	基本研修②	子ども家庭福祉
		13：20～14：20	60分	基本研修③	子どもの発達
		14：30～15：30	60分	基本研修④	保育の原理
		15：30～16：00	30分		確認テスト、アンケート記入
2日目	12/6(日)	10：00～11：00	60分	基本研修⑤	対人援助の価値と倫理
		11：10～12：10	60分	基本研修⑥	児童虐待と社会的養護
		13：00～14：00	60分	基本研修⑦	こどもの障害
		14：10～15：10	60分	基本研修⑧	総合演習
		15：10～15：40	30分		確認テスト、アンケート記入
3日目	12/12(土)	10：00～11：30	90分	地域型共通⑩	特別に配慮を要する子どもへの対応
		11：40～12：40	60分	地域型共通⑪	〈講演〉子どもの権利について
		13：30～15：00	90分	地域型共通⑫	グループ討議
		15：00～15：30	30分		確認テスト、アンケート記入
4日目	12/13(日)	10：00～11：00	60分	地域型共通⑦	地域保育の環境整備
		11：10～12：10	60分	地域型共通⑧	安全の確保とリスクマネジメント
		13：00～14：30	90分	地域型共通⑨	保育者の職業倫理と配慮事項
		14：30～15：00	30分		確認テスト、アンケート記入
5日目	12/19(土)	10：00～11：00	60分	地域型共通①	乳幼児の生活と遊び
		11：10～12：40	90分	地域型共通②	乳幼児の発達と心理
		13：30～14：30	60分	地域型共通③	乳幼児の食事と栄養
		14：40～15：40	60分	地域型共通④	小児保健Ⅰ
		15：50～16：50	60分	地域型共通⑤	小児保健Ⅱ
		16：50～17：20	30分		確認テスト、アンケート記入
6日目	12/20(日)	10：00～11：00	60分	地域型保育①	地域型保育の概要
		11：10～13：10	120分	地域型保育②	地域型保育の保育内容
		14：00～15：00	60分	地域型保育③	地域型保育の運営
		15：10～16：40	90分	地域型保育④	地域型保育における保護者への対応
		16：40～17：10	30分		確認テスト、アンケート記入
7日目	12/26(土)	9：30～10：30	60分	見学実習	講義
		10：40～11：40	60分	見学実習	講義
		12：40～16：40	240分	見学実習	演習

※救急救命講習は1月中に予定。